

令和8年10月号（セレクトナ R8年9月撮影）

ヒガンバナ



シロバナヒガンバナ



別名は**曼珠沙華**（マンジュシャゲ）、カミソリバナ、シビトバナ、トウロウバナなどいろんな呼び名があります。原産国は中国大陸だそうです。強い毒を持つ植物で、害獣除けで田んぼの周りなどに植えられていますが、飢饉のときに、毒を抜いて食用にされていたそうです。秋の彼岸のころにいっせいに咲きだして彼岸を彩ってくれます。

ヒガンバナは種では繁殖できないため、人の手が入らないところでは繁殖できない植物だそうです。花の色は、赤、白、ピンクがあります。ノビルやニラと間違えてたべて、中毒事故もおこしたりしていますが、一方では薬としても利用されているそうです。